

多収米

福井の稲作を『強い粒づくり』大粒&多収でつなぐ

令和7年7月25日

JA福井県
多収米協議会

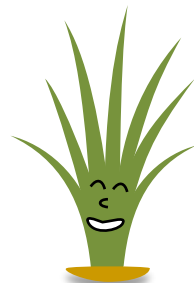
にじのきらめき

RAINBOW RICE

速報
【No.10】

【水管理を徹底し品質向上を！】

梅雨明け以降は最高気温が35℃を超える猛暑日が続く、今後も猛暑日が続く予想がされています。県内のほとんどの調査地点で幼穂形成期に入っており、より細やかな水管理が必要となります。今後、出穂期を迎える時期までは圃場に入水し、間断通水を実施しましょう。



1.生育状況について(7月23日現在)

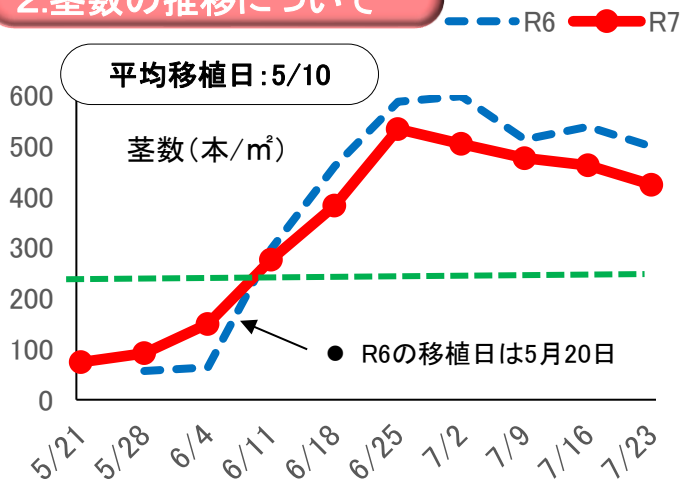
①JA全体

栽培区分	年度	移植日(平均)	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉色
移植	R7	5/10	85.2	424.0	3.9
	R6	5/20	92.2	499.1	4.2

②各地区の状況

栽培区分	地区	移植日(平均)	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉色
移植	福井	5/11	88.3	457.2	4.3
	坂井	5/10	82.1	390.8	3.5

2.茎数の推移について



にじのきらめきの平均葉色は、3.9で昨年より薄い状況です。昨年より高温が続いているため肥料の溶質が早いことが考えられます。各圃場の葉色を確認し葉色4.0以下は、出穂までに穂肥を散布しましょう。



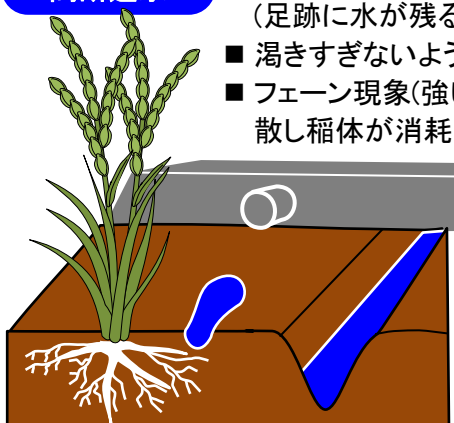
【現在の幼穂長: 12mm】



3.にじのきらめきの栽培ポイント

間断通水

- 幼穂形成期以降は特に水が必要なので間断通水(足跡に水が残る程度)の管理を収穫直前まで実施。
- 渴きすぎないように3～5日に1回入水。
- フェーン現象(強い南風)の時は、葉から水分が蒸散し稲体が消耗してしまうので深水管理。



◆ 間断通水で下葉も青くイキイキ



葉色に注意

今後も、高温が予想されています。収量アップを目指して、適正な水管理や葉色に応じて穂肥を散布しましょう。

【葉色の管理】

- 水管理で一発肥料の効果を高める
- 葉色が4.0以下の場合は穂肥を散布

【穂肥の施用】

- 肥料: アグリフラッシュ444
- 施肥量: 7～14kg/10a(N:1～2kg)

県域多収米「にじのきらめき」のお問い合わせは、各地区担当営農指導員までお願いします。